

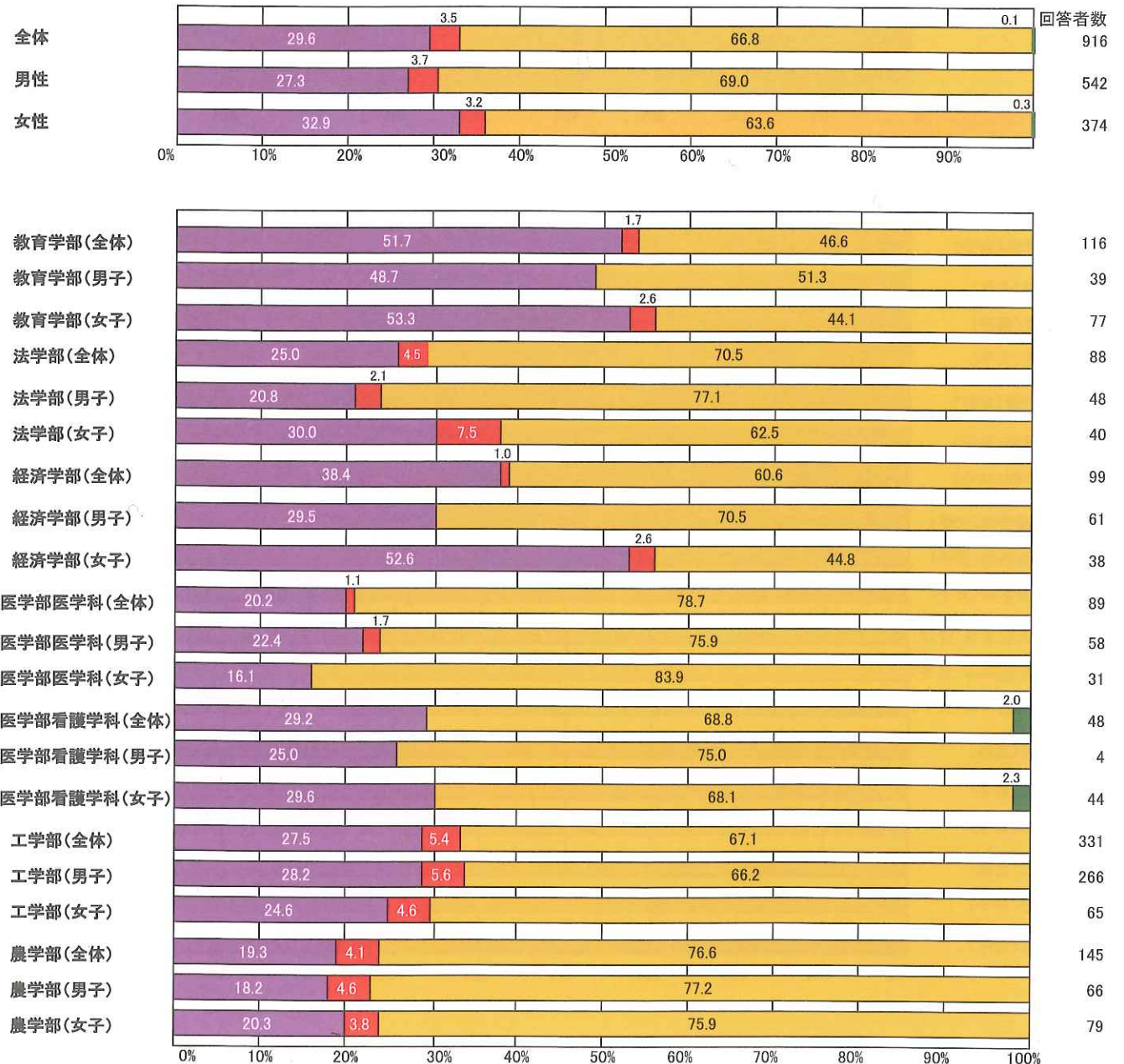
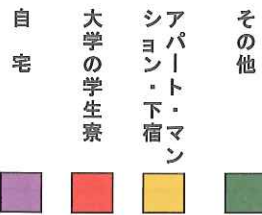
### 3.経済状況

#### (1)住居の形態度

問6 あなたが現在住んでいるのは次のうちどれですか

自宅通学がおよそ3割(29.6%)であり、残りのおよそ7割が自宅外通学である。自宅通学は、教育学部女子(53.3%)、経済学部女子(52.6%)にとくに多い。自宅通学が最も少ないのは、医学部医学科女子(16.1%)である。

【図6】

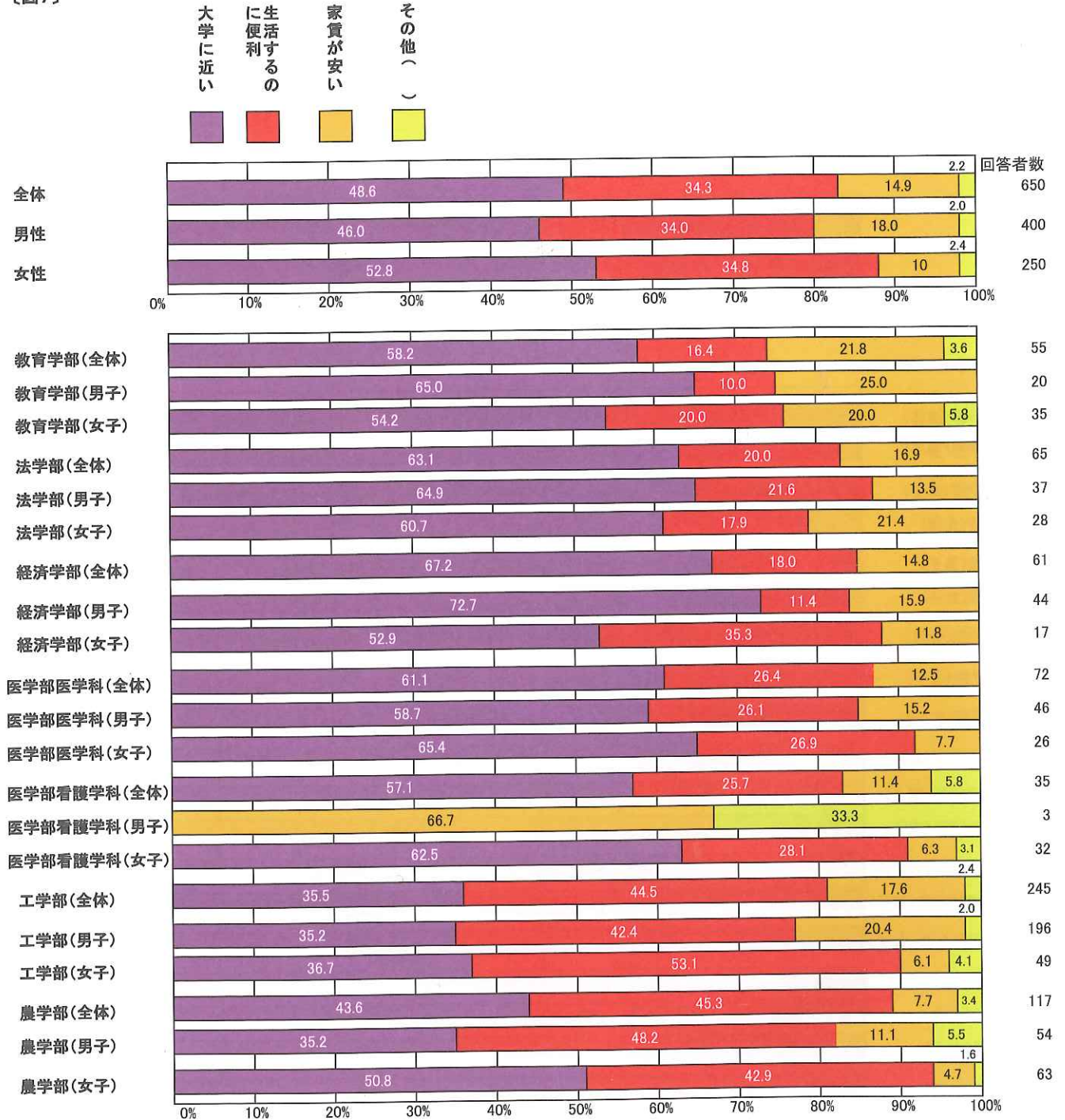


(2) 住居を選んだ理由

問7 問7から問13まで、現在、自宅以外に住んでいると回答した方におたずねします。現在の住居を選んだのはどの理由からでしょうか、1つ選んで教えてください。

住居を選択する基準は、まず「大学に近い」(48.6%)であり、次いで「生活するのに便利」(34.3%)がきている。「家賃が安い」は14.9%である。学部別に見ると、とりわけ経済学部男子に「大学に近い」(72.7%)という選択をする者が多い。他方、工学部の学生(44.5%)、農学部の学生(45.3%)においては「生活するのに便利」という観点が住居選択に当たって重視されている。

〔図7〕



問8 問7の質問で「4.その他( )」を選択した方は、その内容を記述してください。

教育学部	男子学生	回答なし
	女子学生	回答なし
法学部	男子学生	回答なし
	女子学生	回答なし
経済学部	男子学生	回答なし
	女子学生	回答なし
医学部 医学科	男子学生	回答なし
	女子学生	回答なし
医学部 看護学科	男子学生	・バイト先の病院の近く
	女子学生	・姉が目の前のアパートに住んでおり安心できると言う理由で親が決めた。
工学部	男子学生	・本学から遠いが、工学部に近い物件にした。 ・本学と工学部との丁度中間あたりで、どちらに行くにも都合がよいから。 ・セパレート。 ・空いていた場所がここしかなかった。
	女子学生	・セキュリティがしっかりしているから。 ・安全面において安心できるから。
農学部	男子学生	・のどかな雰囲気。 ・駅と大学、共に近いため。 ・築年数。
	女子学生	・駅が近く、バイト、サークルへの参加にも便利だと感じたから。

(3) 部屋の間取り

問9 現在の部屋の間取りはどのタイプでしょうか、1つ選んで答えて下さい。

間取りの典型は、「1K」(41.6%)もしくは「ワンルーム」(30.2%)である。医学部看護学科の学生の部屋の間取りは「1K」が特に多い(61.7%)。「ワンルーム」はとくに法学部女子に多い(46.4%)。

【図9】

